



紹介

アカンパニー戸塚の活動は、
戸塚区社会福祉協議会【ボランティア情報】
戸塚区ボランティア連絡会【心の輪】
地域の情報誌【はまかせ】などに紹介されたことがあります



平成12(2000)年

《ボランティア情報》



7月のボランティア入門ミニ講座より

(-布おもちゃをつくってみよう-

7月13日(木)終了)

—受講者の声—

♪子どもを連れてこられたのでとても助かりました。
♪ヘルパーをしています。高齢者の人たちとの楽しみに生かします。
♪温かみのある作品がとてもよかったです。
♪次回は友人と参加したい
♪以前から布おもちゃに興味を持っていた。



—講師の感想—

「アカンパニー戸塚」は、制作した布おもちゃや布絵本を子育てグループや施設に貸し出すことを主な活動としているボランティアグループです。小さなお子さんの手をひいたお母さんから、針を持つのは久しぶりという高齢の方まで22名で洗濯バサミを使ったこねこを作りました。あっという間の楽しい2時間でした。託児をしたことも、気軽に参加できると好評のようでした。

家に帰ってからも素材を代えて何匹も作りましたと後日お知らせ頂いたり、グループ活動に参加して下さいと下さる方もいらしたりと、手作り布おもちゃの楽しさや、やさしさを分かち合うことができました。

平成18(2006)年

《心の輪》

布おもちゃ アカンパニー戸塚

子供の成長に欠かせないおもちゃ。中でも布おもちゃは手触りも良く、子供達に愛されるおもちゃの一つになっています。

『アカンパニー戸塚』はそんな布おもちゃを作り続けて約10年になります。布絵本やシアターエプロン、マジックテープを利用した魚釣りゲームや的あてゲーム、皮のむける果物に切れるケーキなどなど…さまざまな質感の布を用い、色合いも美しく思わず手にとりたくなるものばかりです。

布おもちゃは、障害のある方や、お年寄りにも楽しんでもらっています。指先を使うことで感覚の発達を促し、リハビリにも役立ち、地域のケアプラザでも使用されています。

興味のある方は、借りることから参加してみませんか。フレンズ戸塚でお待ちしています。



布おもちゃづくり

「アカンパニー戸塚」

20年、そしてこれから

アカンパニー戸塚は、1996年に発足し戸塚区の「おもちゃ図書館」を目指して布おもちゃの製作や貸し出しを中心に活動してきました。

作品の数も増え木曜日にフレンズ戸塚にいけばおもちゃを借りられると覚えて頂き、種々の団体やサークル、お子さんの手を引いたお母さん達が立ち寄ってくれるようになりました。布おもちゃを作ってみたいという希望も多く寄せられ毎年講座を開催し、福祉施設への作品の寄贈も始め活動の柱となってきました。

当初は子育てサークルや保育所等お子さんの利用が多かったのですが、最近では高齢者施設への貸し出しが増え、安全で優しい布おもちゃの特長が活かされています。

今年度アジアの発展途上国の女性や子どもに支援団体を通じて布おもちゃを届けることができたのは大変嬉しいことでした。

20年を前にふり返ると、荷物の多さからくる収納場所の不足は常に頭を悩ませてきた問題ですが、安心して活動できる拠点があったからこそ続けてこられたように感じています。これからも基本の活動を大切に継続していきたいがら次のステップを模索していきたいと思っています。

「むしむし絵合わせ」
ロンドン

おもちゃ図書館へ

布おもちゃづくりアカンパニー戸塚アカンパニー戸塚では、メンバーの暖かい手で一針一針丁寧におもちゃが作られています。十センチ四方のフェルト四枚で一匹の虫(チョウやバッタ等六種類)が完成する「むしむし絵合わせ」というパズルがあります。

おもちゃ図書館全国連絡会では、毎年おもちゃ寄贈事業として、ダンボール箱に様々なおもちゃを詰めて全国のおもちゃ図書館に寄贈する活動をしています。むしむし絵合わせは「説明書がなくても見ただけで、年齢、性別、言語が違っててもどんな遊びをするのかわか

る素晴らしいおもちゃ」と褒めていただき、一〇〇七年春寄贈の箱に加わることになりました。その数四十八セット。急ピッチで三ヶ月で作成し日本各地に散らばっていききました。

更に話は続きます。その後、ロンドンでもおもちゃ図書館国際会議が開催される時、コンパクトな「むしむし絵合わせ」は連絡会の方と一緒に空を飛び、何と！ロンドンのおもちゃ図書館に寄贈されました。

私達が心をこめて作ったおもちゃが、日本だけでなくロンドンでも遊んでもらえていると想像するだけで嬉しい気持ちになります。発足十年目のご褒美の様で、今後の作品作りへの意欲へと繋がっていきます。



カラフルな手づくり布おもちゃの作品類

